

総合内科の存在意義

田所浩 総合内科医長

医療の専門性が高まるにつれその必要性にますます注目が集まる総合内科について同院の田所医長に話を聞いた。

総合内科とは

文字通り各診療科の垣根を越えてなんでも診る科です。通常、症状で診断がつく症例はそれぞれの診療科で対応しますが、総合内科



田所医長

ほどの診療科にも当てはまらない患者さんを引き受け診療に当たります。そのため当科は外来と病棟両方を診ます。そこが一般の内科と違う点です。

幅広い知識が必要ですね

はい。風邪などのよくある疾患、軽度のぜんそく、髄膜炎などの神経内科、外科手術を必要としない胃潰瘍などの消化器科まで専門医と連携をとりながら診療します。そのため総合内科があることで当院の専門医の外来や入院診療の負担軽減にもつながり、患者さん

への負担も減ります。

特にその専門性を発揮する場合

原因不明の熱、特に感染症などこれまでどの専門内科にも属さなかった分野や、複数の専門科にまたがる病状などです。欧米ではすでに確立されていますが、日本ではまだ認知度が低いのが現状です。しかし、高齢化が進む日本ではこれから必ず必要になる分野です。そのため私どもは日々勉強し知識を身に付け、研修など教育にも力を注いでおります。

M JAPAN MEDICAL ALLIANCE
社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス

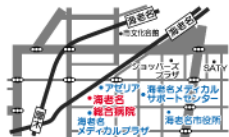
海老名総合病院

コールセンター(予約専用)

☎046(234)6529 www.jinai.jp/

海老名市河原口1320

平日 8:30~17:00 / 土 8:30~12:00



海老名駅から

無料シャトルバス運行

海老名駅西口出て右側に停留所あります